

2022 年度 年報



玉昌会グループ

医療法人玉昌会／社会福祉法人幸友会／株式会社JOY

玉昌会グループ 基本理念

いつまでも健やかに……
——私たちの願いです。

行動指針



グループビジョン



玉昌会グループは、健康・医療・福祉・生活の総合ビジョンを掲げ、鹿児島市・姶良市に密着した、きめ細やかな医療環境づくりをめざしています。

また、医療をとりまく環境や制度の変化、さらにますます進む高齢化に向けて、より時代に即した医療環境の整備が求められています。こうした時代のニーズに応えるべく総合的な視点で、未来に向けた新しい医療環境を構築していきます。

玉昌会グループ年報

2022 年 4 月 1 日～2023 年 3 月 31 日

医療法人玉昌会

加治木温泉病院

キラメキテラスヘルスケアホスピタル

JOY メディカルクリニック・介護医療院おはな

在宅サービス事業部

社会福祉法人幸友会

株式会社 JOY



◆公益財団法人 日本医療機能評価機構

キラメキテラスヘルスケアホスピタル

機能種別版評価項目 3rdG: Ver2.0 認定

加治木温泉病院 機能種別版評価項目 3rdG: Ver2.0 認定

加治木温泉病院 リハビリテーション付加機能 Ver3.0 認定

◆一般社団法人 日本慢性期医療協会

慢性期医療認定病院 キラメキテラスヘルスケアホスピタル

加治木温泉病院

◆エコアクション 21

認証事業所 キラメキテラスヘルスケアホスピタル

加治木温泉病院

◆日本政策投資銀行 (DBJ)

医療法人玉昌会 健康格付付与

// 環境格付付与

// BCM 格付付与

// ビジヨナリーホスピタル認定

◆健康経営優良法人認定制度 (経済産業省)

医療法人玉昌会 健康経営優良法人 2023 (ホワイト 500) 認定

◆第 6 回日経スマートワーク経営調査 3 つ星評価獲得

目 次

グループビジョン・法人理念

巻頭のことば	2
--------	---

【医療法人玉昌会】

組織図	10
外部役員・嘱託講師	11
派遣・ボランティア	14
主な行事・出来事	15
トピックス	17
新聞掲載・マスコミ報道	21
2022 年度業績一覧	24

法人事務局	29
-------	----

組織図

人事

環境経営マネジメント

加治木温泉病院	35
---------	----

運営方針

沿 革

概 要

組織図

統 計

部門別活動報告

各種委員会

地域リハビリテーション広域支援センター事業

学術活動 院内研修

実習受入れ

キラメキテラスヘルスケアホスピタル	76
-------------------	----

運営方針

沿 革

概 要

組織図

統 計

部門別活動報告

各種委員会

学術活動 院内研修

実習受入れ

JOY メディカルクリニック

／介護医療院おはな	110
-----------	-----

運営方針

沿 革

概 要

統 計

部門別活動報告

各種委員会

在宅サービス事業部	118
-----------	-----

運営方針

概 要

部門別活動報告

学術活動 院内研修

【社会福祉法人 幸友会】

理念・保育目標	132
---------	-----

組織図・沿革	133
--------	-----

概要・かずみスペシャル保育	134
---------------	-----

職員研修	135
------	-----

主な年間行事	136
--------	-----

【株式会社 JOY】

経営理念・行動指針	138
-----------	-----

事業内容・組織図	139
----------	-----

各事業所の概要	140
---------	-----

トピックス	141
-------	-----

2022 年度玉昌会グループ年報の発刊にあたって

玉昌会グループ代表 高田 昌実
医療法人玉昌会 理事長
社会福祉法人幸友会 理事長



2022 年度も皆様方には法人グループ運営等に関し、大変お世話になり誠にありがとうございました。2022 年度のグループ年報が完成いたしました。

2022 年度は、新型コロナ禍 3 年目にも関わらずコロナウイルスが猛威を振るい、玉昌会グループの病院と施設もクラスターが発生し多大な影響を受けた年でしたが、皆様のご支援と職員が一丸となつての対応で、これらを乗り越えた事に対し感謝申し上げます。

社会状況は、2022 年 2 月から始まったロシアによるウクライナ侵略が今も続いており、世界の経済に大きく影響を与えて続け、食糧および原油等の高騰は世界的なインフレ経済を招き、インフレ抑制の為のアメリカの金利政策で想定外の円安が進行し、物価高騰に拍車をかけました。この様な状況は今後も続くものと思われ、物価高騰との戦いも長期化が避けられない状況となっています。更に人手不足は深刻な課題であり、日本全体の効率化を進めていくためには、働き方改革の推進と IT 化による社会全体の効率化が早急になされる事が望まれます。

多様な施設を運営する当グループでは、心身共に健全でウェルネスな地域共生社会を支える地域包括ケアシステムネットワークの基盤となる、「ヒューマンライフライン」の構築に協力し、全世代のヘルスケアに対応した医療・介護・福祉サービスを含めた多様な生活支援サービスを提供する事を目標としています。

目標達成の為に、「健康経営」をグループ経営の中核に置き、職員と家族の健康こそがグループの財産であり社会の財産として捉え、職員の健康管理は持続可能な法人運営上の適切な投資活動と捉え、職員の心身の健康管理に適切な補助を行い、今後も職員の健康維持をサポートしていきます。今年度も当法人は、2023 年 3 月に経済産業省と日本健康会議が主催する、職員の健康維持を目的とした「健康経営優良法人 2023 (ホワイト 500)」認定制度で、2019 年より 5 年連続の認定を取得しています。

鹿児島地区の活動は、2021 年 2 月に開院し 2 年目を迎えたキラメキテラスヘルスケアホスピタルは「再入院を極力させない為の入院治療」を基本方針に掲げ、新しい医療概念の「治し支える医療」に基づき、適切な入院期間 (50 日～100 日程度) を有意義に快適に過ごす事を目標に、チーム医療・介護の総合的医療・介護サービス機能向上に取り組んでいます。

特徴は、キラメキテラスヘルスケアホスピタルと隣接する高度急性期を含む急性期医療を

担う「昭和会 いまきいれ総合病院」と医療サービス連携強化を更に行い、高額医療機器の共同利用や、健診、人間ドックでの機能連携、合同研修会の開催、合同防災訓練の実施等で医療連携を強化し、更に、鹿児島市の地域住民の重層的な課題を解決していく重層的支援体制整備事業（ワンストップ相談窓口の構築）の協議もはじめました。

始良地区では、創業 60 周年記念事業の加治木温泉病院の新築移転計画における地域完結型医療システムの構築に向けて、「JOY タウン計画」の準備を進めています。2022 年 12 月には計画の第 1 期の取り組みとして、始良伊佐 2 次医療圏の地域医療構想に協力して既存の有料老人ホーム跡地に、加治木温泉病院の 60 床の病床を転換し「JOY メディカルクリニック」も併設した介護医療院Ⅱ（介護老人保健施設同等機能）「介護医療院おはな」を開院しました。これにより加治木温泉病院は 230 床の病院と 2 つの介護医療院を併設する医療・介護サービスを兼ね備えた新しいケアミックス病院に機能を向上させ、グループの医療・介護機能を充実させる事で、加治木温泉病院と併設の介護医療院Ⅰ（介護療養型医療施設同等機能）並びに、グループの在宅事業部の 2 つの看護小規模多機能施設の在宅介護機能と連携がなされ、始良市の医療並びに介護サービス機能がより充実できるため、これからも切れ目のない医療・介護・障害福祉サービスと生活支援サービスを総合的に統一的に提供可能な体制の構築を目指します。

その為にグループは、18 年後の 2040 年までに両地区で必要とされる、地域包括ケアシステムネットワークをベースとする、地域共生社会に必要なプラットフォーム「ヒューマンライフライン」を構築し、全世代に対応した医療・介護・福祉を含めた生活支援サービスを提供していく集団を目指し、地域住民と行政、各医療機関、介護事業者並びに連携先の昭和会と密なる連携を強化する為に、理事長ミーティング、理事長・院長ミーティングを毎月定期的に開催し、両法人が運営する各病院の高度急性期を含む急性期機能（病気を治す医療）から回復期機能・在宅サービスを含む慢性期機能（病気も治し、社会と生活を支える医療）までをシームレスに提供する「鹿児島市の水平分業の地域完結型医療システム」を目指しています。

グループは、今後も法人理念の「いつまでも健やかに・・・私たちの願いです。」のもと、行動指針の「低・賞・感・微」を念頭に置き、両地区における計画を 2025 年に向けて実行します。

今後も益々大きく激変する社会変化に対応し、常に地域の皆様が必要とされる生活支援サービスに当たる医療・介護・福祉サービスの充実と向上に努め、日々努力を重ね、多くの関係者と共に、笑顔の絶えない明るい社会を作りたいと考えております。

何卒、皆様方には今後ともご指導ご鞭撻をお願い申し上げご挨拶とさせていただきます。

2022 年度玉昌会グループ年報の発刊に寄せて ーポストコロナ、ウイズコロナを見据えてー

医療法人玉昌会 始良地区担当理事 夏越 祥次
加治木温泉病院 院長



新型コロナウイルスは 2020 年 1 月に国内で初めての感染者が確認され、すでに 3 年余りが経過しました。ウイルスは変異を繰り返し、新しいウイルス株により感染の消長がみられました。本邦ではこれまで第 1 波から第 8 波のクラスター感染が起こり、医療体制の逼迫や経済活動の低下がみられました。2022 年度に当院では 3 回のクラスターを経験しました。1 回目（2022 年 3 月～4 月）、2 回目（8 月～10 月）、3 回目（12 月～2023 年 1 月）のクラスターで、各々職員、患者の感染者数は 1 回目が 26 名と 34 名で計 60 名、2 回目が 8 名と 127 名で、計 215 名、3 回目が 46 名と 16 名で、計 62 名でした。3 回のクラスターを経験して、1 回目のクラスター後には、感染病棟の選定とゾーニングを速やかに行うことが重要と考えられました。さらに換気を十分に行うための陰圧室の整備を急ぐ必要があったことが反省点でした。2 回目のクラスターのオミクロン株は感染力が強く、多くの職員及び患者が罹患した結果、医療逼迫の状況となり、医療、経営共に厳しい状況となりました。3 回目のクラスター後、地域包括ケア病床 23 床を陰圧室として整備し、コロナウイルス感染症の再燃あるいは異種の感染症に備える対応としました。さらに県の新型コロナウイルス感染症指定受け入れ医療機関となり、一般患者 4 名、透析患者 2 名の受け入れを可能としました。感染症対応に慣れない回復期・慢性期病院でのクラスター発生には、多くの反省と課題が上がりましたが、次への対応に生かしながらなんとか乗り越えることができました。職員皆さんの感染に対する前向きな姿勢と努力の賜物であり、心より感謝いたします。3 度にわたるクラスターの経験は、今後の感染症に対して大きな教訓と新たな対策への指針を得ることができました。

2023 年になり、新型コロナウイルス感染症も徐々に収まり、コロナ禍以前の状況に戻りつつあります。コロナ禍でオンラインを用いた授業、会議、診療、あるいはテレワーク、リモートワークといった在宅勤務などが急速に進みました。私たちが参加する機会が多い会議や学会では、移動時間が少ない、旅費を節約できる、日常業務を行いながら参加できるなどのメリットがあります。一般社会では、ワーク・ライフ・バランスの面で家族と過ごす時間が増える、出産・育児・介護等と仕事を両立できる、都市から地方にサテライトオフィスを設置することにより地方の活性化につながる、等のメリットがあります。

一方、対面での活動が制限されていたため、コミュニケーション不足になった感じがします。対面で相手の表情を見て感情を察しながら、会話をすることは大切で、オンラインでは

腹を割ってゆっくりと話ができないことも対面では可能です。今後は、会議や仕事の内容に関して、場面ごとにオンラインと対面のそれぞれのメリットを生かした選択が行われていくと思われます。

さて、今後の地方の医療は人口減少と高齢化に伴い益々工夫が必要になります。コロナ禍で進歩した Information and Communication Technology（ICT）を用いた医療技術はさらに進化していくと考えられます。地域の方々や患者さんとの相互に情報をやり取りする仕組み（Internet of Things : IoT）を作ることにより、遠隔操作で在宅治療や見守りが可能になります。近い将来、診断、治療指針に AI も投入され、AI のメリットと医療従事者であるからこそできるメリットを調和するようになると思われます。これらが活用されると、医療を含めた地域自体がデジタル技術により、大きな変革をもたらす Digital Transformation (DX) が起こります。地域医療も地域包括ケアシステムと連動して、DX を活用した組織作りが形成される方向に向かいます。

始良地区では「JOY タウン構想」のもと、加治木温泉病院の分割計画第 1 期として、12 月 1 日に介護医療院おはなが開院しました。今後も分割計画が進んでいきますが、ポストコロナ・ウィズコロナの将来像を見据えた対応が必要になると思われます。人口減少に伴う患者さんの減少、コロナウイルスのように予期しない感染症、地震・台風などの自然災害、医療制度や診療報酬の見直しなど様々な変化が起こることが予想されます。いずれにしましても、地域の皆様に安心・安全な医療を提供するために、「何が起こっても動じない病院」となるように、職員一同が一意専心の気持ちで取り組んでまいります。2022 年度一年間のご協力に感謝申し上げますとともに、2023 年度も何卒ご指導・ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

2022年度玉昌会グループ年報の発刊に寄せて

医療法人玉昌会 鹿児島地区担当理事 上村 章
キラメキテラスヘルスケアホスピタル 院長



2022 年度玉昌会グループ年報の発刊に寄せて、一言御挨拶申し上げます。

当院は、2021 年 2 月 1 日に開院し 3 年目に入りました。回復期リハビリテーション病棟 48 床、地域包括ケア病棟 45 床、地域一般病棟 9 床、医療療養病棟 96 床の計 198 床を備え、リハビリテーションや人工透析などを中心とした入院医療に、一般内科、消化器内科や循環器内科などの専門外来を加えた外来医療を提供しております。また、2021 年 6 月に新設したトータルウェルネスセンターでは、各種健診・人間ドック・特定保健指導・産業医活動などに対応しており、未病予防領域にも力を入れております。

キラメキテラスでは、高度急性期・急性期医療を担ういまきいれ総合病院が隣接し稼働しており、日頃から連携し診療にあたっております。健診などの未病予防領域から、救急治療などの高度急性期・急性期医療、リハビリテーションや療養といった回復期・慢性期医療まで提供できる体制を構築しております。なお、2023 年春にはシェラトンホテルやマンション、サービス棟等が開業し、キラメキテラス全体のグランドオープンを迎えました。引き続き、南国殖産株式会社、公益社団法人昭和会、当法人のコンソーシアム 3 法人連携を進めて参ります。

当法人は『いつまでも健やかに……私たちの願いです。』の基本理念と、行動指針『低償感微』のもとに、『医療人としての感性』を大切にし、働きやすい職場、やりがいのある職場、人を育む職場環境作りに努め、『良き社会人』として将来性のある医療人の更なる育成にも力を入れております。

2023 年度も依然コロナ禍ではありますが、スタッフのモチベーションを保ちながら、今後も、地域に必要とされ、地域の方から選んでいただける病院を目指し、職員一丸となりより一層精進して参りますので、どうぞ宜しくお願い申し上げます。

2022 年度玉昌会グループ年報の発刊にあたって

玉昌会 理事 濱田 浩志
JOY メディカルクリニック 院長
介護医療院おはな 院長



2022 年度玉昌会グループ年報の発刊に寄せて、一言ご挨拶申し上げます。

私は、2022 年 12 月 1 日より介護医療院おはな及び JOY メディカルクリニックの院長に就任致しました濱田浩志と申します。

介護医療院は『住まいと生活を医療が支える施設』という概念にて 2018 年 4 月に創設されました。我が国は今後団塊の世代が後期高齢者となる 2025 年に向けて医療や介護が必要な高齢の方々の増加が予想されております。そこで玉昌会グループでは住宅型有料老人ホームおはなを改修し新たに介護医療院と JOY メディカルクリニックを開院致しました。介護医療院おはなでは要介護 1～5 までの要介護者 60 名の方々の入所受け入れを行っております。今までの老人保健施設よりもより多様な医療のニーズに対応できる施設として取り組んで参ります。

さて、2022 年度の 1 年間を振り返ってみますと 2020 年初頭に発生した新型コロナウイルス感染症のパンデミックにより数回のピークが繰り返されてきました。これまでの感染対策の取り組みや治療薬の開発などにて徐々に落ち着いてきており今後はポストコロナの時代になっていくと考えられます。ただし当施設は医療機関であり引き続き十分な感染対応してまいります。

他にも 2022 年 2 月に始まったロシアによるウクライナへの軍事侵攻は世界へ大きな衝撃を与え今後の世界情勢に暗い影を落としています。

またこの軍事侵攻によるエネルギー不足や世界経済の不安定などから我が国では円安がすすみ多くの商品の値上げが起こっており社会生活に大きな不安を投げかけております。このように日常生活が厳しくなり、又社会情勢が不安定な 1 年だったと思います。

このような状況下ではありますが私たちは介護医療院おはなと JOY メディカルクリニックの両施設を設立し微力ではありますが医療に携わる者として与えられた使命を果たすべく地道にこつこつと励んで参りたいと思います。

最後に昨年 1 年間の皆様方のご協力に感謝しつつ 2023 年度が皆様方にとりまして幸多き 1 年となりますように祈念してご挨拶とさせていただきます。

今年度も何卒よろしくお願い申し上げます。

2022 年度玉昌会グループ年報の発刊に寄せて

株式会社JOY 代表取締役 高田 和美



2022 年度も関係各位、皆様方には大変お世話になり誠に有難うございました。

各事業部の運営をつつがなく遂行できましたのも、皆様方のご支援の賜物でございます。心より御礼申し上げます。

2022 年も新型コロナウイルスが猛威を振るい、新規感染者数が過去最多を日々記録するなど、引き続き新型コロナウイルスに左右される一年でありました。諸外国へ目を向けますと、ロシアによるウクライナ侵攻について、世界中の方々が心を痛めたことでしょう。世界中で起こる紛争が一日でも早く収束し、日常を取り戻されることを願うばかりです。

一方、2023 年に入り国内の緊急事態宣言終了後、海外旅行者の受け入れなどインバウンド需要が回復しつつあり、経済活動の再開に向けた明るい兆しもあります。

アフターコロナは「未病」「健康」「医療」のニーズが益々高まると予想されています。新しい働き方・生き方を求め満たすため、ウェルビーイングへ導くさまざまなウェルネスアクションについて、グループ全体で取り組む必要があると考えております。

「健康」とは、体内・内面の環境保全であり、インナー・サスティビリティです。持続可能な社会を実現するためには、個人（自分自身）がサステイナブルになり、あらためて自分自身の内面と向き合うことが重要視されていくことでしょう。

弊社事業におきましては、お客様にとって欠かせないウェルネス交流拠点として活気を取り戻しつつあります。これまでに培ってきた社員一人ひとりの能力を最大限に発揮しながら、将来に向けた改善と工夫が、必ずや目標を達成する力となるとことを確信しています。

「Make your JOY」という基本理念のもと、お客様に安心安全な場である事をお約束し、常にお客様視点の進めを忘れることなく、事業に邁進して参ります。

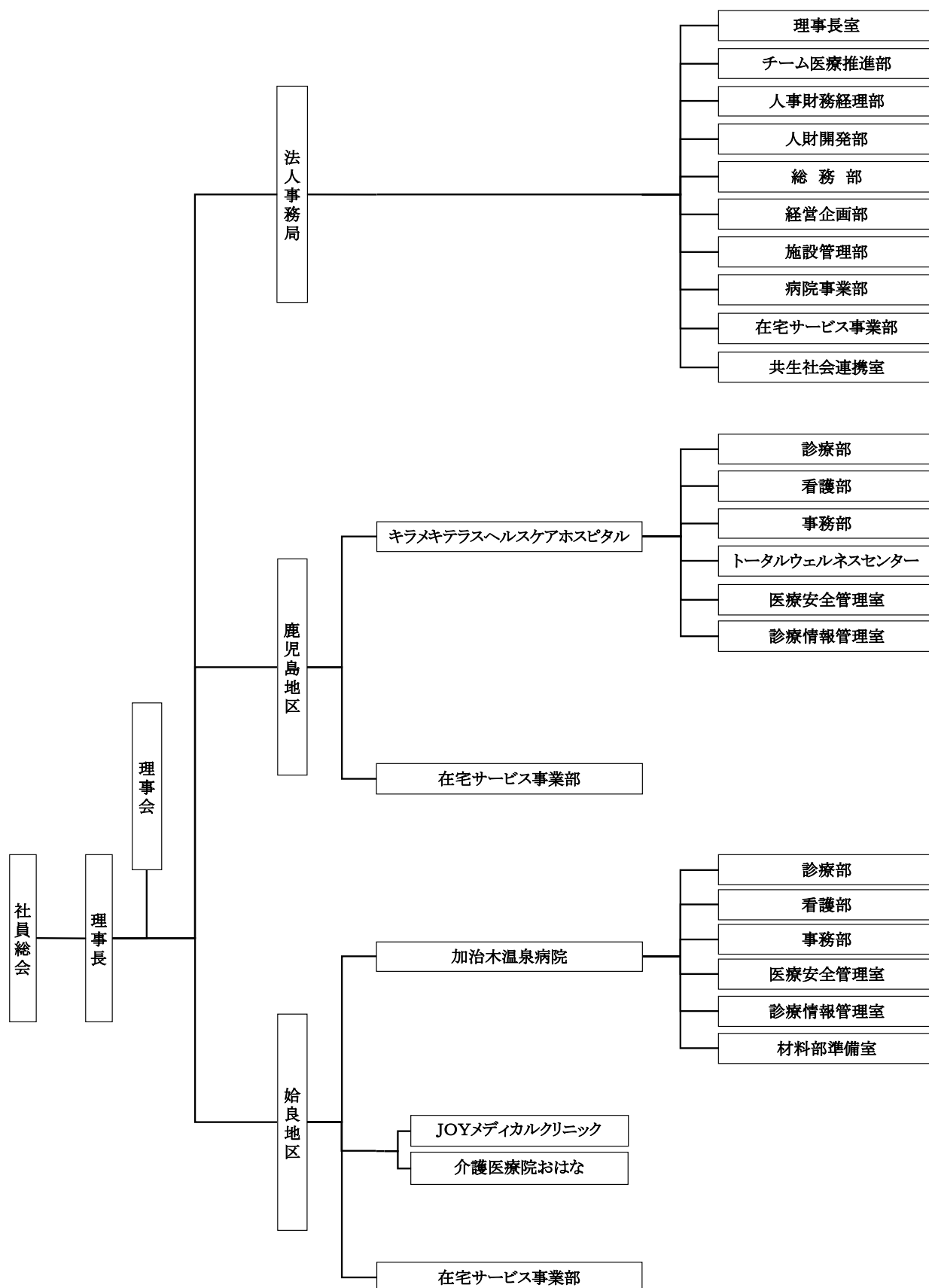
また、心身の健康と同時に、価値観や生きがいなど多元的な健康観を発信し、ウェルネス資源にあふれるサービスで自己発見・自己開発・自己実現のできる場所を提供し続けて参りたいと思います。

最後になりますが、これからも事業活動を通じて地域に愛され、必要とされるよう社員一同一層の精進を重ねて参りますこととお誓い申し上げ、御礼のご挨拶とさせていただきます。

医療法人 玉昌会

医療法人 玉昌会 組織図

2023 年 3 月現在



外部役員・嘱託講師（2022 年度）

関連機関名	役職	担当者
日本医療経営実践協会	九州支部理事南九州支局長	高田 昌実
NPO法人 災害福祉広域支援ネットワーク・サンダーバード	監 事／鹿児島支部長	高田 昌実
鹿児島県透析医会	会 長	萩原 隆二
鹿児島脳卒中地域連携ネットワーク研究会	世話人	萩原 隆二
鹿児島県慢性期医療協会	監 事	萩原 隆二
鹿児島県慢性腎臓病（CKD）対策協議会	委 員	萩原 隆二
鹿児島市慢性腎臓病（CKD）予防ネットワーク会議	委 員	萩原 隆二
鹿児島県移植医療アイバンク推進協会	理 事	萩原 隆二
日本外科学会	特別会員	夏越 祥次
日本消化器外科学会	名誉会長、名誉会員	夏越 祥次
日本食道学会	名誉会員	夏越 祥次
日本胸部外科学会	特別会員	夏越 祥次
日本胃癌学会	特別会員	夏越 祥次
日本癌治療学会	功労会員	夏越 祥次
日本臨床外科学会	評議員	夏越 祥次
日本消化器癌発生学会	名誉会員	夏越 祥次
日本リンパ学会	常任理事、編集委員	夏越 祥次
胃外科術後障害研究会	名誉会員	夏越 祥次
手術手技研究会	監 事	夏越 祥次
日本 SNNS 研究会	世話人	夏越 祥次
臨床解剖研究会	世話人	夏越 祥次
食道胃外科フォーラム	世話人	夏越 祥次
NPO 法人国際食道疾患会議	理 事	夏越 祥次
Digestive Surgery	Associate Editor	夏越 祥次
Japanese Journal of Lymphology	Editorial Board	夏越 祥次
鹿児島県地域医師育成	特別顧問	夏越 祥次
メディポリス医学研究所	理 事	夏越 祥次
始良地区地域医療構想調整会議	委 員	夏越 祥次
鹿児島県地域医療対策協議会	委 員	夏越 祥次
日本蛍光ガイド手術研究会	世話人	夏越 祥次
日本がん転移学会	名誉会員	夏越 祥次
日本胸部外科学会九州地方会	名誉会員	夏越 祥次
日本大腸肛門病学会九州支部	幹 事	夏越 祥次
日本癌局所療法研究会	特別会員	夏越 祥次
九州内視鏡・ロボット外科手術研究会	名誉会員	夏越 祥次
京都大学臨床研究審査委員会	技術専門員	夏越 祥次
始良市立加治木中学校	学校医	山下 正策
医療法人 大徳会 桜ヶ丘病院とその関連施設	産業医	有馬 卓志
株式会社 アクシーズ	産業医	有馬 卓志
龍桜高等学校専攻科	非常勤講師	野村 真一
龍桜高等学校専攻科	非常勤講師	松本 航

外部役員・嘱託講師（2022 年度）

関連機関名	役職	担当者
鹿児島大学医学部	臨床教授	三好 逸男
日本皮膚免疫アレルギー学会	評議員	三好 逸男
鹿児島大学水産学部	非常勤講師	福崎 誠
鹿児島船員労働安全衛生協議会	船員法指定医	福崎 誠
日本性機能学会	評議員	内田 洋介
日本思春期学会	理 事	内田 洋介
日本性科学会第 39 回学術集会	会 長	内田 洋介
鹿児島大学医学部	非常勤講師	内田 洋介
鹿児島県医療法人協会立看護専門学校	非常勤講師	内田 洋介
神村学園専修学校	非常勤講師	内田 洋介
神村学園高等部	非常勤講師	内田 洋介
鳳凰高等学校	非常勤講師	内田 洋介
鹿児島県立蒲生高等学校	講 師	内田 洋介
鹿児島県立伊佐農林高等学校	講 師	内田 洋介
鹿児島市立鹿児島商業高等学校	講 師	内田 洋介
鹿児島県立楠隼中学校	講 師	内田 洋介
鹿児島市立長田中学校	講 師	内田 洋介
始良市立山田中学校	講 師	内田 洋介
大村報徳学園	講 師	内田 洋介
始良市立加治木中学校	学校薬剤師	中村 真之
錦江幼稚園	学校薬剤師	中村 真之
鹿児島県病院薬剤師会	理 事	中村 真之
始良地区薬剤師会	理 事	中村 真之
始良地区学校保健会	副会長	中村 真之
始良市学校保健会	副会長	中村 真之
始良伊佐地区介護保険組合介護認定審査会	委 員	中村 真之
始良伊佐地区介護保険組合介護認定審査会	委 員	小湊 裕一
鹿児島県理学療法士協会	代議員	大迫 尚仁
鹿児島県理学療法士協会	高麗・西田地区担当	大迫 尚仁
日本予防理学療法学会 第 7 回サテライト集会	準備委員	大迫 尚仁
鹿児島県理学療法士協会	地区長	増山 泰英
鹿児島県理学療法士協会	代議員	増山 泰英
鹿児島県理学療法士協会	編集部長	原口 拓人
鹿児島県臨床工学技士会 災害対策委員会	委 員	梅橋 直史
鹿児島県言語聴覚士会	会 長	原口 友子
日本言語聴覚士協会	代議員	原口 友子
鹿児島県理学療法士・作業療法士・言語聴覚士連絡協議会	副会長	原口 友子
鹿児島県災害リハビリテーション推進協議会（K J R A T）	世話人	原口 友子
鹿児島県リハビリテーション医学研究会	世話人	原口 友子
鹿児島高次脳機能研究会	世話人	原口 友子
鹿児島県摂食嚥下リハビリテーション研究会	世話人	原口 友子

外部役員・嘱託講師（2022 年度）

関連機関名	役職	担当者
慢性期リハビリテーション協会 病後リハ委員会	委 員	原口 友子
始良伊佐地区介護保険組合介護認定審査会	委 員	原口 友子
鹿児島医療技術専門学校	非常勤講師	原口 友子
志學館大学	非常勤講師	原口 友子
始良市特別支援連携協議会	委 員	原口 友子
鹿児島県言語聴覚士会	理 事	有川 瑛人
志學館大学	非常勤講師	有川 瑛人
鹿児島医療技術専門学校	非常勤講師	有川 瑛人
始良市自立支援協議会	こども部会 部員	原 有希
始良市教育支援委員会	委 員	小崎 由果
鹿児島県作業療法士協会	代議員	藤本 皓也
宮崎保健福祉専門学校	非常勤講師	藤本 皓也
霧島・始良地区放射線技師会	学術担当世話人	川原 翔太
A M I 株式会社	アドバイザー	川原 翔太
看護協会始良伊佐地区医療安全ネットワーク	委 員	池田 かおり
看護協会鹿児島地区医療安全ネットワーク情報交換会	委 員	成枝 真紀
始良市防火協会	理 事	山元 直子
災害福祉広域支援ネットワーク・サンダーバード	講 師	飯伏 真一
松原なぎさ校区コミュニティ協議会 まちづくり・環境部会	代議員	飯伏 真一
松原なぎさ校区コミュニティ協議会 健康福祉部会	代議員	鈴木 淑子
鹿児島脳卒中地域連携ネットワーク研究会 連携パスMSW小委員会	委 員	尾ノ上 正実
鹿児島県社会保険委員会連合会	理 事・会計監事	坂元 真一
鹿児島北社会保険委員会	副会長	坂元 真一
日本年金機構 鹿児島北年金事務所	年金委員	坂元 真一
荒田校区社会福祉協議会	福祉委員	坂元 真一
日本年金機構 鹿児島北年金事務所	年金委員	西田 寿子
全国健康保険協会 鹿児島支部	健康保険委員	西田 寿子
全国健康保険協会 鹿児島支部	健康保険委員	竹元 鳴美
鹿児島脳卒中地域連携ネットワーク研究会 看護連携小委員会	委 員	毛井 美里
鹿児島脳卒中地域連携ネットワーク研究会 看護連携小委員会	委 員	若松 優
鹿児島県整形外科地域連携研究会	委 員	南 加奈
鹿児島県医療ソーシャルワーカー協会	理 事	南 加奈
始良伊佐支部介護支援専門員協議会	理 事	恒吉 小夜子
一般社団法人 鹿児島県作業療法士協会	学術局研究班	平嶋 佑太郎

【キラメキテラスヘルスケアホスピタル】

- 鹿児島商工会議所コロナワクチン接種派遣
4月11日・12日・14日・18日・19日・21日 各日1名
- かごしまの風と光とナポリ祭 2022 救護班
11月12日・11月13日 各1名
- 燃ゆる感動かごしま国体・かごしま大会 式典練習会 救護班
3月30日 各1名

【加治木温泉病院】

始良市新型コロナウイルスワクチン集団接種

- 南九州病院
4月3日（1名）・10日（1名）
5月15日（1名）
- イオンタウン始良
10月22日（1名）・23日（1名）・29日（1名）
11月5日（1名）・6日（1名）・13日（2名）・19日（1名）・26日（1名）
- 始良市役所
12月10日（1名）・11日（1名）・18日（1名）

コロナ宿泊施設医療従事者派遣

- 5月 計15名

2022 年度 行事・主な出来事

◆2022 年度玉昌会グループ入社式

開催日：2022 年 4 月 1 日

会場：そうしん本店ビル 6 階

対象者：4 月 1 日新卒入職者 32 名

主な内容：「理事長講話」「辞令交付」「新入職者 誓いのことば」

◆2022 年度新入職者オリエンテーション（後期）

開催日：2022 年 4 月 1 日・4 日・5 日・6 日・7 日

会場：そうしん本店ビル 6 階、始良公民館

対象者：4 月 1 日新卒入職者

主な内容：「法人理念・行動指針」「社会人の役割」「医療安全」「感染対策」「倫理教育」
「アンガーマネジメント」「ハラスメント防止」

◆新役職者研修

開催日：①2022 年 4 月 14 日 ②2022 年 10 月 6 日

会場：そうしん本店ビル 6 階会議室

対象者：今年度、新しく役職者となった職員

主な内容：「管理職の役割」「人事考課制度についての概要」「ザイオン決済法」

◆Global Wellness Day イベント

開催日：2022 年 6 月 12 日

会場：WellBe Club（始良地区）、荒田 1 丁目 2 丁目公民館（鹿児島地区）

主な内容：WellBe Club、加治木温泉病院、キラメキテラスヘルスケアホスピタルが連携し、「健康的な生活」を改めて見つめなおすきっかけづくりを提供するイベントを開催

◆新人フォローアップ研修

1 回目のフォローアップ研修は、新型コロナウイルス感染状況により始良地区、鹿児島地区の開催日程をずらして開催した。

開催日：①2022 年 7 月 28 日（始良地区）（3 か月後）・10 月 5 日（鹿児島地区）（6 か月後）

②2022 年 12 月 15 日（8 か月後）

会場：①始良地区：ウェルビークラブ・JOYTOWN ホール・鹿児島地区：キラメキテラスヘルスケアホスピタル 7 階会議室

②ウェルビークラブ・JOYTOWN ホール

対象者：2022 年度の新卒入職者

主な内容：「医療安全対策」「感染対策」「コミュニケーション」「メンタルヘルス」「読書を通して自分の強みを知る」

◆新人指導者研修

2022 年 3 月開催予定だったが、新型コロナウイルス感染症の状況により 5 月に開催した

開催日：2022 年 5 月 12 日

会場：そうしん本店ビル 6 階会議室

対象者：各部署の新人指導者

主な内容：「指導者の心構え」「コーチング」

◆佐藤錬選手 所属契約締結式

開催日：2022 年 9 月 27 日

会場：そうしん本店ビル 4 階会議室

主な内容：トライアスロン佐藤錬選手の玉昌会所属契約を締結した

◆新人指導者フォローアップ研修

開催日：2022年9月28日
会場：そうしん本店ビル6階会議室
対象者：各部署の新人指導者で今年度指導者研修受講者
主な内容：「コーチングの振り返り」「アンガーマネジメント」

◆地域公開講座

開催日：2022年10月28日
会場：キラメキテラスヘルスケアホスピタル7階
主な内容：兵庫県立大学大学院経営研究科客員教授（元厚生労働省老健局長）宮島俊彦先生を講師にお招きし、「医療・介護の政策理解と見通し」と題して、医療法人玉昌会 公益社団法人昭和会主催で地域公開講座を開催

◆地域公開講座

開催日：2022年11月5日
会場：Li-Ka1920 5階会議室 RoomA
主な内容：九州大学名誉教授 尾形裕也先生を講師にお招きし「2040年を見据えた未来社会に取り組むべき、エッセンシャルワーカーの働き方改革と健康経営について」と題して、主催：医療法人玉昌会 公益社団法人昭和会、共催：南国殖産株式会社で地域公開講座を開催

◆介護医療院おはな・JOYメディカルクリニック開院式

開催日：2022年12月5日
会場：介護医療院おはな・JOYメディカルクリニック

◆第11回玉昌会グループ学会

開催日：2023年1月28日
会場：そうしん本店ビル6階会議室からZOOM配信

◆人事考課者研修

開催日：①2023年2月21日・24日（鹿児島地区） ②2月28日・3月3日（始良地区）
会場：①鹿児島地区（ZOOM）：キラメキテラスヘルスケアホスピタル7階多目的ホール南側・そうしん本店ビル6階・法人事務局会議室
②始良地区：加治木温泉病院1階食堂談話室
対象者：全役職者
主な内容：「人事考課の公平性を保つための確認事項について」

◆地域公開講座

開催日：2023年2月24日
会場：株式会社JOY事務所
主な内容：「認知症かな？と思ったら」～自分らしく生き長生きするために～
講師：デイサービス風の街 副管理者：井料 健勝

◆地域公開講座

開催日：2023年3月7日
会場：Li-Ka1920 5階会議室 RoomA
主な内容：九州大学大学院医学研究院医療経営・管理学講座 馬場園 明教授を講師にお招きし、「2025年の医療・介護に向けて～統合地域ヘルスケアシステム～」と題して、医療法人玉昌会 公益社団法人昭和会主催で地域公開講座を開催

◆2023年度新入職者オリエンテーション（前期）

開催日：2023年3月22日・24日（2日間）
会場：そうしん本店ビル6階・始良公民館
対象者：2023年度の新入職者
主な内容：「社会人としての心得」「人事考課について」「コミュニケーション研修」

2022 年度 玉昌会トピックス

【キラメキテラスヘルスケアホスピタル 院長交代】



高田病院時代から 17 年にわたり院長を務めてまいりました萩原 隆二先生が、令和 4 年 3 月 31 日をもちまして院長を退任し、名誉院長に就任しました。



後任として、令和 4 年 4 月 1 日より上村 章先生が院長に就任しました。

【濱田浩志先生が院長就任】



2022 年 12 月 1 日、濱田浩志先生が、「ＪＯＹメディカルクリニック」「介護医療院おはな」院長に就任しました。

【新入職医師のご紹介】

2022 年度は 2 名の医師が玉昌会グループへ入職されました。

- キラメキテラスヘルスケアホスピタル
呼吸器内科 山中 弘毅医師
- 加治木温泉病院
外 科 坂元 史典医師

➤ 4 月

【玉昌会グループ入社式】



新しく玉昌会グループの仲間になる新入職者 32 名の入社式を開催しました。

【キラメキテラスヘルスケアホスピタル 外来診療体制を充実】

4月から新たに呼吸器内科、糖尿病内科を標榜し、内科・皮膚科・泌尿器科に加え、

- 消化器内科
- 肝臓内科
- 腎臓内科
- 循環器内科
- 糖尿病内科
- 呼吸器内科
- リハビリテーション科
- 脳神経内科

の専門外来を開設しました。

➤ 6 月

【医療法人玉昌会 Twitter 公式アカウント開設】

法人の取り組みや活動、各施設やグループの情報等を発信するツールとして、Twitter 公式アカウントを開設しました。

【キラメキテラスヘルスケアホスピタル ボランティア団体よりお弁当の差し入れ】

料理人で作る鹿児島市のボランティア団体「MASA's Kitchen」より、新型コロナウイルス患者対応にあたる医療スタッフへとお弁当 30 食差し入れをいただきました。

➤ 7 月

【加治木温泉病院 機能評価更新審査】

公益財団法人 日本医療機能評価機構による病院機能評価更新審査を受けました。審査の結果、5 度目の認定を受けることが出来ました。



➤ 8 月

【キラメキテラスヘルスケアホスピタル NHK鹿児島放送局取材】

萩原名誉院長が、「コロナ禍における透析医療の逼迫や患者受け入れ等に関する現状」について、NHK 鹿児島放送局より取材を受けました。

【加治木温泉病院 心療内科を標榜】

加治木温泉病院が 8 月から「心療内科」を標榜し、16 診療科を有する病院になりました。

➤ 9 月

【エコアクション 21 中間審査】

次年度のエコアクション 21 更新審査前に向け、中間審査を受審しました。玉昌会は SDGs を

トピックス

意識して環境経営活動を行なっています。

➤ 10 月

【佐藤錬選手 医療法人玉昌会所属】



オリンピック強化選手で今後さらなる活躍が期待される、トライアスリートの佐藤 錬選手との所属契約を締結しました。

【地域公開講座 講師：宮島 俊彦先生】

医療法人玉昌会と公益社団法人昭和会主催で、兵庫県立大学大学院経営研究科客員教授（元厚生労働省老健局長）宮島俊彦先生を講師にお招きし、「医療・介護の政策理解と見通し」と題して地域公開講座を開催しました。

【キラメキテラスヘルスケアホスピタル 心療内科を標榜】

キラメキテラスヘルスケアホスピタルが10月から「心療内科」を標榜し、12診療科を有する病院になりました。

➤ 11 月

【地域公開講座 講師：尾形 裕也先生】

主催：医療法人玉昌会 公益社団法人昭和会、共催：南国殖産株式会社で、九州大学名誉教授 尾形裕也先生を講師にお招きし「2040 年を見据えた未来社会に取り組むべき、エッセンシャルワーカーの働き方改革と健康経営について」と題して地域公開講座を開催しました。

【キラメキテラスヘルスケアホスピタル 竹田健康財団見学】

福島県会津若松市より、竹田健康財団の皆様が当院の見学に来られました。いまきいれ総合病院と繋がるアトリウム、ゼロ動線病棟、縁側廊下等ご案内しております。

【キラメキテラスヘルスケアホスピタル 高麗町町内会親睦グランドゴルフ大会参加】

高麗町住民の皆様と親睦を深めるため、町内会が主催するグランドゴルフ大会に参加しました。

【キラメキテラスヘルスケアホスピタル キラメキテラス合同防災訓練】

キラメキテラス街区（南国殖産、キラメキテラスヘルスケアホスピタル、いまきいれ総合病院）の防災訓練が行われました。併せて院内でも防火・防災訓練を行っております。

【日本医療マネジメント学会 九州・山口連合大会 参加】

鹿児島で開催された「日本医療マネジメント学会 第20回九州・山口連合大会」に、玉昌会からも多数の演題で参加しました。

➤ 12 月

【JOYメディカルクリニック・介護医療院おはな 開院】

12月1日 加治木温泉病院からの入居者搬入、12月5日の開院式を終え、無事、「JOY メディカルクリニック」・「介護医療院おはな」が開院となりました。

【キラメキテラスヘルスケアホスピタル 12月より救急告示病院認定】

キラメキテラスヘルスケアホスピタルは、令和4年12月より「救急告示病院」として認定されました。

【県から環境マネジメントシステム導入取材】

環境マネジメントシステムを導入し、効果的に活用されている事業所の先進事例として、鹿児島県より当法人が取材を受けました。事業者向け動画として鹿児島県のホームページでご覧いただけます。

➤ 1 月

【第11回玉昌会グループ学会 2022 開催】

玉昌会グループ学会を3年ぶりにハイブリッド形式で開催しました。8人の演題発表と、年間最優秀職員の表彰式が行われました。

- 鹿児島地区理事賞：三反田 美保
- 始良地区理事賞：外蘭 美貴子
- 理事長賞：里村 衣織

➤ 2 月

【医療経営士研修会開催】

鹿児島市内会場とZOOMを利用して、「医療経営士 南九州支局研修会」をハイブリッド形式で開催しました。各会場と個人参加者を繋ぎ、180名近くの方々が受講されました。

➤ 3 月

【地域公開講座 講師：馬場園 明教授】

医療法人玉昌会と公益社団法人昭和会主催で、九州大学大学院医学研究院医療経営・管理学講座 教授 馬場園 明先生を講師にお招きし、「2025年の医療・介護に向けて～統合地域ヘルスケアシステム～」と題して地域公開講座を開催しました。

南日本新聞 2022年8月27日掲載

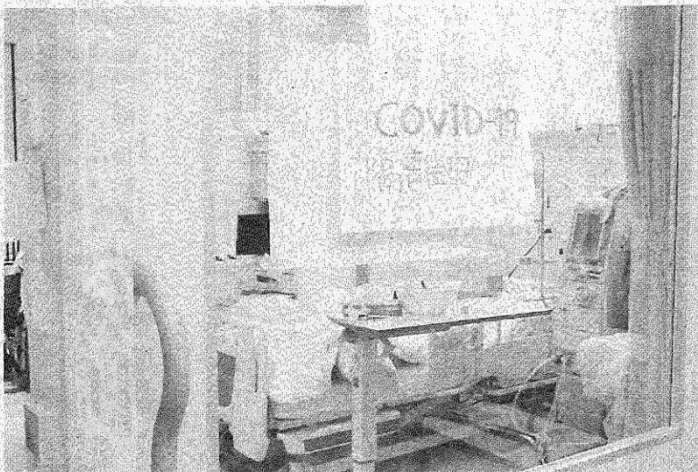
※南日本新聞社の「著作物使用許諾」を受け掲載しております。

透析患者の病床逼迫

新型コロナウイルスの爆発的な感染拡大で、重症化リスクの高い人工透析患者の感染も増加している。鹿児島県内では透析患者に対応できる病床が逼迫。受け入れる医療機関は臨時的に対応病床を増やしたり、県が通院送迎支援を始めた。患者対応に追われている。

臨時増床追われる

県は通院送迎支援



新型コロナウイルスに感染し入院中の透析患者。鹿児島市のキラメキテラスヘルスケアホスピタル（画像は一部加工しています）

日本透析医会などによると25日現在、鹿児島を含む九州・沖縄における透析患者のコロナ感染は累計1515人で死亡が76人、死亡率は5%と高い。7月7日以降だけで370人以上の感染が確認されている。

鹿児島県透析医会の萩原隆一会長は「中等症以上の透析患者を受け入れ可能な病院は県内で約15と限られる。病床が限界に近く調整が難しくなってきた」と話す。そのため症状が軽くなった患者を療養解除となる発症10日を待たずに転院・退院させるなどして、空きベッドを確保している。

のが現状という。

萩原会長が名誉院長を務める、鹿児島市の「キラメキテラスヘルスケアホスピタル」は、感染した透析患者に対応できる病床を12床確保。軽症以下の患者を受け入れる。25日時点で8床空いているが、「感染がさらに広がれば受け入れられなくなる。透析患者は基本的な感染対策と3、4回目のワクチン接種を徹底してほしい」。

通院で透析を受ける

さん（ ）は「手洗いや対策をしているが重症化リスクがあるので不安」と話す。

鹿児島県は7月末から、自宅や宿泊療養施設から透析のため通院する感染者の無料送迎サービスを始めた。入院しにくい状況があり、透析医から要望が出て実現した。民間タクシー会社に委託し、鹿児島市、

始良市のほか伊集院、川薩、指宿、加世田の各保健所管内を対象に運行している。23日時点で12人が利用。県は「今は試験的な運行だが、うまくいけば県内全域も検討したい」としている。

（蘭田安未）

南日本新聞 2022年9月28日掲載

※南日本新聞社の「著作物使用許諾」を受け掲載しております。

トライアスロン 県スポ協佐藤 玉昌会に移籍

トライアスロン日本代表として9月のアジア選手権（カザフスタン）で個人と混合リレーを制した佐藤錬（写真）が、医療法人玉昌会（鹿児島市）と所属契約を結んだ。これまで所属していた鹿児島県スポーツ協会から移籍し、来年の鹿児島国体に県代表として挑む。



契約締結式が27日、鹿児島市のそうしん本店ビルであった。辞令を受け取った佐藤は

「県民に元気と勇気を与えるレースをしたい」と抱負を語った。契約は10月1日から2024年3月まで。

佐藤は東京都出身の26歳。7月に練習中の事故で亡くなった宮崎集選手と県スポ協の強化指導員として同僚だった。佐藤は「一緒に鹿児島国体に向けて頑張ろうと話していた。宮崎選手の分まで頑張りたい」と語った。

（永山一樹）

2022年9月20日（毎月1回20日発行）

（第700号）

鹿児島 16

横顔
新任インタビュー

「まち」の強み生かし 連携で未来をつくる

60年超の歴史を有する高田病院が移転し、「キラメキテラスヘルスケアホスピタル」となっており、1年半ほどがたった。多施設が集まる「まち」で、新院長の上村章氏は、どんな病院運営を目指しているのだろうか。



健康経営で 「働きがい改革」

モデルケースへの 発展を目指す

は働きやすくなったという声があります。鹿児島市での豪雨災害の経験から、1階を天井高6.5mにしたのも工夫した点だ。2階以上への浸水を防ぎ、病院機能を維持する狙い。同時に、地域の災害医療の拠点としての役割を果たすため、物資の備蓄も進めているという。

患者さんの役に立ちたい、患者さんのそばにもっといたいという気持ちを感じることも多く、非常にうれしく思っています」

業務効率化を目指して導入した電子カルテについても、現場の意見を取り入れながらさらにアップデートしていく予定だ。

急性期と慢性期の 2病院が隣接

キラメキテラス（ルスケアホスピタル）は、病床数198床を有し、回復期・慢性期から在宅医療・介護までを切れ目なく提供している。急性期医療を担う、公益社団法人昭和会「いきいき総合病院」が隣接

2病院の経営母体は異なるが、2階の渡り廊下でつながっており、職員や患者が行き来できる。「急性期から在宅医療まで一貫して対応できる医療体制構築を、2病院の共同で実現することを目指しています。別法人の病院が渡り廊下でつながるのは全国でも珍しい試みです」

設計上の特長はこれだけではない。スタッフステーションを病棟の中心に配置する「ゼロ動線病棟」により、両側の病室への動線を最短にした「死角が少なく、患者さんの異変や徘徊（はいかい）にすぐに気付けるようになりまし。以前より外傷数が減るなどリスクが下がったため、職員から

経営母体である医療法人玉昌会は早くから、職員の心身の健康に配慮した取り組みをすることで経営面にもメリットを生み出す「健康経営」に重きを置いてきた。「健康経営優良法人（ホワイト500）」の認定を4回取得。医師や職員の働き方改革にも、健康経営の考えの下、取り組み方針だ。

「働き方改革は「働きがい改革」だと捉えています。職員の誰もがこれまで以上に働きがいを感じられるようにし、生きがいにも、人生における幸福にもつながる職場を目指します」

具体的な取り組みは、職員からの提案によって推進されている。例えば、「認知症患者の見守りが手薄になる時間帯があるので、早出の時間を早めたい」という要望に応えたり、コロナ禍で出勤できない職員が複数出る時に備えて、診療科の枠を超えた応援を可能にしたり。「職員の提案からは、

2022年4月には、脳卒中や脊髄損傷後のリハビリテーション治療として知られる「促進反復療法（川平法）」の提供が始まり、県外からの患者が増加。23年春にはキラメキテラス内の一室に「シェラトン鹿児島」も開業する。「国内外からの医療ツーリズムの広がりにも期待しています」

学会発表

■加治木温泉病院

1. 夏越祥次: Indication and Impact of splenectomy/splenic hilar lymph node dissection preserving the spleen for proximal gastric cancer. (特別発言) 第 94 回日本胃癌学会総会 (パネルディスカッション), 横浜市, 3 月 4 日, 2022. (Web)
2. 夏越祥次: スキルス胃癌の課題 (特別発言). 第 77 回日本消化器外科学会総会 (パネルディスカッション), 横浜市, 7 月 20 日, 2022.
3. 夏越祥次: 人生 100 年時代の外科医療 (特別発言). 第 84 回日本臨床外科学会総会 (総会特別企画), 福岡市, 11 月 25 日, 2022.
4. 小川耕平: 促通反復療法と前腕回内外リハビリ装置の併用療法により上肢手指機能に良好な結果を得た頸椎症性脊髄症患者の一例. 九州作業療法学会 2022 年 in 佐賀, 佐賀市, 6 月 18 日, 19 日, 2022.
5. 末吉孝行: 摂食嚥下障害患者に対する口腔機能低下症の評価の意義 (ポスター). 第 23 回日本語聴覚学会, 新潟市, 6 月 24 日, 25 日, 2022.
6. 増山泰英 1), 米山拓 1), 志水章彌 1), 原口徹郎 1), 木山良二 2), 夏越祥次 1): 当院回復期リハビリテーション病棟における義肢装着療法の取り組みについて (ポスター). リハビリテーション・ケア合同研究大会 苫小牧 2022, 苫小牧市, 9 月 30 日, 10 月 1 日, 2022.
所属: 1) 医療法人玉昌会 加治木温泉病院, 2) 鹿児島大学 医学部 保健学科 理学療法学専攻
7. 春田千幸: 保育現場における ICT 化の推進～保育の ICT 化を通じ、地域の未来を育む玉昌会グループの取組～ (ポスター). 第 63 回全日本病院学会 in 静岡, 浜松市, 10 月 1 日, 2 日, 2022.
8. 藤井みゆき, 看護部門長研修 G グループ: 住み慣れた地域へ帰ろう～多職種で取り組む入退院支援～. 第 63 回全日本病院学会 in 静岡, 浜松市, 10 月 1 日, 2 日, 2022.
9. 山元直子 1), 岡元英昭 1), 藤井みゆき 1), 小杉正生 1), 井前明浩 1), 折田悟 1), 高田昌実 2), 夏越祥次 1): 回復期・慢性期病院での新型コロナウイルス感染症クラスターを経験して. 第 63 回全日本病院学会 in 静岡, 浜松市, 10 月 1 日, 2 日, 2022.
所属: 1) 医療法人玉昌会 加治木温泉病院, 2) 医療法人玉昌会 法人事務局
10. 今村香織: 医事課における新入職者教育体制構築への取り組み. 日本医療マネジメント学会 第 20 回九州・山口連合大会, 鹿児島市, 11 月 5 日, 2022.
11. 堂森めぐみ, 松元奈美子, 藤井みゆき, 夏越祥次, 高田昌実: 慢性期医療病院での COVID-19 クラスター経験と今後の課題. 第 30 回日本慢性期医療学会, 京都市, 11 月 17 日, 18 日, 2022.
12. 有川瑛人, 窪田正大, 原口友子, 有馬美智子: セリエンスネットワークの不全が疑われた右島皮質損傷の一例. 第 37 回鹿児島高次脳機能研究会, 鹿児島市, 4 月 22 日, 2022.
13. 有川瑛人, 池村里菜, 瀬戸宇治友紀, 原口友子, 窪田正大, 飯干紀代子: 新造語を伴うウェルニッケ失語例に Semantic feature analysis は効果があるのか. 第 32 回認知リハビリテーション研究会, 東京, 10 月 15 日, 2022.

14. 有川瑛人, 窪田正大, 原口友子, 夏越祥次: 潜在学習の方略は脳卒中患者の二重課題のパフォーマンスの向上に有用か. 第 46 回日本高次脳機能障害学会, 山形市, 12 月 2 日, 2022.
15. 米山拓 1), 原口友子 1), 増山泰英 1), 有川瑛人 1), 春田千幸 1), 川原翔太 1), 中村真之 1), 夏越祥次 1), 高田昌実 1), 窪田昌行 2), 馬場園明 3): 九州一のリハビリテーションを目指して～玉昌会始良地区～. 第 13 回医療福祉経営マーケティング研究会 学術集会, オンライン(ZOOM), 3 月 18 日, 2023.
所属: 1) 医療法人 玉昌会, 2) CCRC 研究所, 3) 九州大学大学院医学研究院医療経営・管理学講座
16. 池村里菜, 有川瑛人, 瀬戸宇治友紀, 原口友子, 窪田正大: ウェルニッケ失語 1 例におけるモーラ数・音節数の想起を活用した訓練の効果: Self-generated cue の獲得に向けた試み. 日本言語聴覚士協会 第 11 回九州地区学術集会, 1 月 29 日, 2023.
17. 原有希 1), 星原優衣 1), 福永潤之助 1), 原口友子 1), 夏越祥次 2): コトバの教室における、年少児の語彙概念発達—始良市における Community based rehabilitation: CBR 第 2 報—. 日本言語聴覚士協会第 11 回九州地区学術集会熊本大会 1 月 28 日, 2023.
所属: 1) 医療法人玉昌会 加治木温泉病院 総合リハビリテーションセンター、2) 医療法人玉昌会 消化器外科

■キラメキテラスヘルスケアホスピタル

1. 田島紘己 1) 3), 三反田美保 2), 萩原隆二 1), 上村章 1), 熊迫健綱 3), 中村真之 3), 島田親房 3), 高田昌実 3), 濱崎秀一 4), 今給黎和幸 4): “キラメキテラス”における切れ目のない一貫通貫な医療介護提供体制の構築. 第 63 回全日本病院学会 in 静岡, 浜松市, 10 月 1 日, 2 日, 2022.
所属: 1) 医療法人玉昌会 キラメキテラスヘルスケアホスピタル医局, 2) 医療法人玉昌会 キラメキテラスヘルスケアホスピタル看護部, 3) 医療法人玉昌会 法人事務局, 4) 公益社団法人昭和会 いまきいれ総合病院
2. 大迫尚仁 1), 増山 泰英 2), 菊池 博之 3), 杉本 清志 3, 4), 高田 華世 4), 田島 紘己 3, 5): 当法人の未病・予防に対する取り組み～コロナ禍でのイベント開催の現状と課題～. 予防理学療法学会 第 7 回サテライト集会 in 霧島, 霧島市, 5 月 21 日, 22 日, 2022.
所属: 1) 医療法人玉昌会 キラメキテラスヘルスケアホスピタルリハビリテーション室, 2) 医療法人玉昌会 加治木温泉病院総合リハビリテーションセンター, 3) 医療法人玉昌会 法人事務局, 4) 株式会社 JOY WellBeClub, 5) 医療法人玉昌会 キラメキテラスヘルスケアホスピタル医局
3. 大迫尚仁 1), 平川智士 1), 五十峯かずみ 1), 村田美奈 1), 福留大輔 1), 下藺康志 1), 菊池博之 1), 中村真之 1), 田島紘己 1), 夏越祥次 1), 高田昌実 1), 窪田昌行 2), 馬場園明 3): 満足度九州一のリハビリテーションの実現を目指して —玉昌会グループ 鹿児島地区での取り組み—. 第 13 回医療福祉経営マーケティング研究会 学術集会, オンライン(ZOOM), 3 月 18 日, 2023.
所属: 1) 医療法人 玉昌会, 2) CCRC 研究所, 3) 九州大学大学院医学研究院医療経営・管理学講座
4. 上奥誠 1), 上村恵 1), 宮口光太 1), 中野麻由 1), 熊迫健綱 2), 坂元真一 1), 渡辺純子 2), 三反田美保 1), 田島紘己 1), 上村章 1), 高田昌実 2): 病床稼働率から見る地域一般病床の立上げの効果. 第 63 回全日本病院学会 in 静岡, 浜松市, 10 月 1 日, 2 日, 2022.
所属: 1) 医療法人玉昌会 キラメキテラスヘルスケアホスピタル, 所属: 2) 医療法人玉昌会

5. 上村恵 1), 宮口光太 1):医療コンシェルジュの立ち上げと育成. 日本医療マネジメント学会 第20回九州・山口連合大会 鹿児島市 11月5日, 2022.
所属:1)医療法人玉昌会 キラメキテラスヘルスケアホスピタル
6. 宮口光太:障害者雇用を通じた地域共生社会の実現に向けて. 日本医療マネジメント学会 第20回九州・山口連合大会 鹿児島市 11月5日, 2022.
7. 川口正 1), 平川智士 1), 川平和美 2), 津嘉山健 2), 上村章 2):母指、示指の運動麻痺へ持続的神経筋電気刺激下の促通反復療法にて運動麻痺が改善した多発性脳梗塞の一例. 第6回リハビリテーション医学会秋季学術集会, 岡山市, 11月5日, 6日, 7日, 2022.
所属:1)医療法人玉昌会キラメキテラスヘルスケアホスピタル リハビリテーション室, 2)医療法人玉昌会キラメキテラスヘルスケアホスピタル 医局
8. 海陸優貴 1), 東畑耕平 1), 野平光輝 1), 福山拓明 1), 大迫尚仁 1), 平川智士 1), 上村章 2):当院における歩行自立指標確立を目指した研究. 第30回日本慢性期医療学会, 京都市, 11月17日, 18日, 2022.
所属:1)医療法人玉昌会キラメキテラスヘルスケアホスピタル リハビリテーション室, 2)医療法人玉昌会キラメキテラスヘルスケアホスピタル 医局

■法人事務局

1. 菊池博之:医療・介護システム統合による「1患者1ID」の実現. 日本医療マネジメント学会 第20回九州・山口連合大会, 鹿児島市, 11月4日, 2022.

論文掲載

■加治木温泉病院

1. Sohda M, Yokobori T, Kimura A, Kosaka T, Yoshida K, Hakamada K, Natsugoe S, Taketomi A, Saeki H, Shirabe K, Kuwano H. Efficacy of chemotherapy for comorbid cancer in patients with simultaneous double cancers: a multicenter study. Surg Today 53:98-108, 2023.
2. Tanigawa K, Kiriya M, Hayashi Y, Shinden Y, Kijima Y, Natsugoe S, Sumimoto T, Morimoto-Kamata R, Yui S, Hama K, Yokoyama K, Nakamura Y, Suzuki K, Nojiri H, Inoue K, Karasawa K. Cathepsin G-induced malignant progression of MCF-7 cells involves suppression of PAF signaling through induced expression of PAFAH1B2 Biochim Biophys Acta Mol Cell Biol Lipids. Aug;1867(8): 159164, 2022.
3. 夏越祥次:大きく考えることの魔術 消化器外科医が薦めるこの一冊 日本消化器外科学会(遠藤格編) p52, 2022.
4. 夏越祥次:外科医の春夏秋冬 胸部外科 75:726, 2022.
5. 増山泰英 1) 福留大輔 2), 原口友子 1), 平川智士 2), 有川瑛人 1), 春田千幸 1), 米山拓 1), 五十峯かずみ 2), 下藺康志 2), 大迫尚仁 2), 村田美奈 2), 菊池博之 3), 川原翔太 3), 中村真之 3), 田島紘己 3), 夏越祥次 3), 高田昌実 3), 窪田昌行 4), 5), 馬場園明 5), 6):患者満足度・九州一のリハビリテーションの実践に向けた戦略と新たなサービスの展開～玉昌会グループの取り組み～ 医療福祉経営マーケティング研究 第17巻, 第1号, 2022年10月1日
所属:1)医療法人玉昌会 加治木温泉病院, 2)医療法人玉昌会 キラメキテラスヘルスケアホスピタル

業績一覧

タル, 3) 医療法人玉昌会, 4) 株式会社 CCRC 研究所, 5) 医療福祉経営マーケティング研究会, 6) 九州大学大学院医学研究院医療経営・管理学講座

6. 春田千幸: 保育現場における ICT 化の推進～保育の ICT を通じ、地域の未来を育む玉昌会グループの取組～ 医療福祉経営マーケティング研究 第 17 巻, 第 1 号, 2022 年 10 月 1 日
7. 有川瑛人, 原口友子, 窪田正大, 飯干紀代子: 両側被殻損傷例に生じた中枢性羞明の発現機序とそのリハビリテーション. 2022 年 27 巻 1 号 p. 36-46,
<https://doi.org/10.50970/cogrehab.2022.007>
8. 志水章彌 1), 米山拓 1), 平下菜穂 1), 堀ノ内啓介 2), 窪田正大 3): 常勤義肢装具士による在宅サービス利用者への定期メンテナンス実施についての調査 P0 アカデミージャーナル Vol. 30, No. 3: 194-200, 2022 年 12 月号
所属: 1) 医療法人玉昌会 加治木温泉病院, 2) 医療法人玉昌会 キラメキテラスヘルスケアホスピタル, 3) 鹿児島大学 医学部 保健学科

■法人事務局

1. 中村真之、夏越祥次、高田昌実: 働き方改革 働く人の幸せを目指す健康経営への取り組み 病院羅針盤 2022 年 11 月 1 日号 No. 221

講演

■加治木温泉病院

1. 夏越祥次: 地域枠新入生に期待すること 令和 4 年度地域枠新入生オリエンテーション 鹿児島市, 4 月 7 日, 2022.
2. 夏越祥次: 多様な医療体制～高度急性期から慢性期までの経験から～ 医療経営士南九州支部研修会 鹿児島市, 2 月 9 日, 2023.
3. 夏越祥次: 医師の働き方改革 ～地方のケアミックス病院の取り組み～ 厚生労働省令和 4 年度トップマネジメント研修(Web) 2 月 28 日, 2023.
4. 有川瑛人: ワンポイントレクチャー: 記憶障害のアセスメントの基本. 第 1 回かごしま神経心理研究会「記憶障害の臨床」, 鹿児島市, 12 月 18 日, 2022.

■法人事務局

1. 島田親房: 組織運営に必要な外部環境の総括～生き残り戦略・データを経営に活かす～ 医療経営士南九州支部研修会 鹿児島市, 2 月 9 日, 2023.
2. 渡辺純子, 熊迫健綱: 地域連携に向けた組織外とのビジョン共有 (講演), 医療介護の地域内連携の実現に向けて (パネルディスカッション) DBJヘルスケアセミナー(Web), 3 月 15 日, 2023.

座長・司会

■加治木温泉病院

1. 夏越祥次: 縦隔鏡下食道癌手術懇話会 2 月 19 日, 2022 (Web)
2. 夏越祥次: 第 122 回日本外科学会定期学術集会 (シンポジウム), 熊本市, 4 月 14 日, 2022.
3. 夏越祥次: 第 122 回日本外科学会定期学術集会 (ランチョンセミナー) 熊本市, 4 月 14 日, 2022.

4. 夏越祥次：第 20 回日本医療マネジメント学会（招請講演） 鹿児島市, 11 月 4 日, 2022.
5. 夏越祥次：鹿児島 CART 講演会 鹿児島市, 3 月 24 日, 2023
6. 増山泰英：リハビリテーション・ケア合同研究大会 苫小牧 2022（一般演題口述 17. 福祉用具・車いすセッション）, 苫小牧市, 2022. 9. 30～10. 1
7. 原口友子：第 7 回慢性期リハビリテーション学会（一般演題）, 長崎市, 3 月 10 日, 2023

■法人事務局

1. 中村真之：日本医療マネジメント学会 第 20 回九州・山口連合大会（一般演題：口演；病院運営①）, 鹿児島市, 令和 4 年 11 月 4 日, 2022

その他

■加治木温泉病院

1. 夏越祥次：吉田和弘教授のご退任に寄せて 吉田和弘先生退任記念誌, 2022.
2. 夏越祥次：森正樹先生記念業績集, 2022.

■キラメキテラスヘルスケアホスピタル

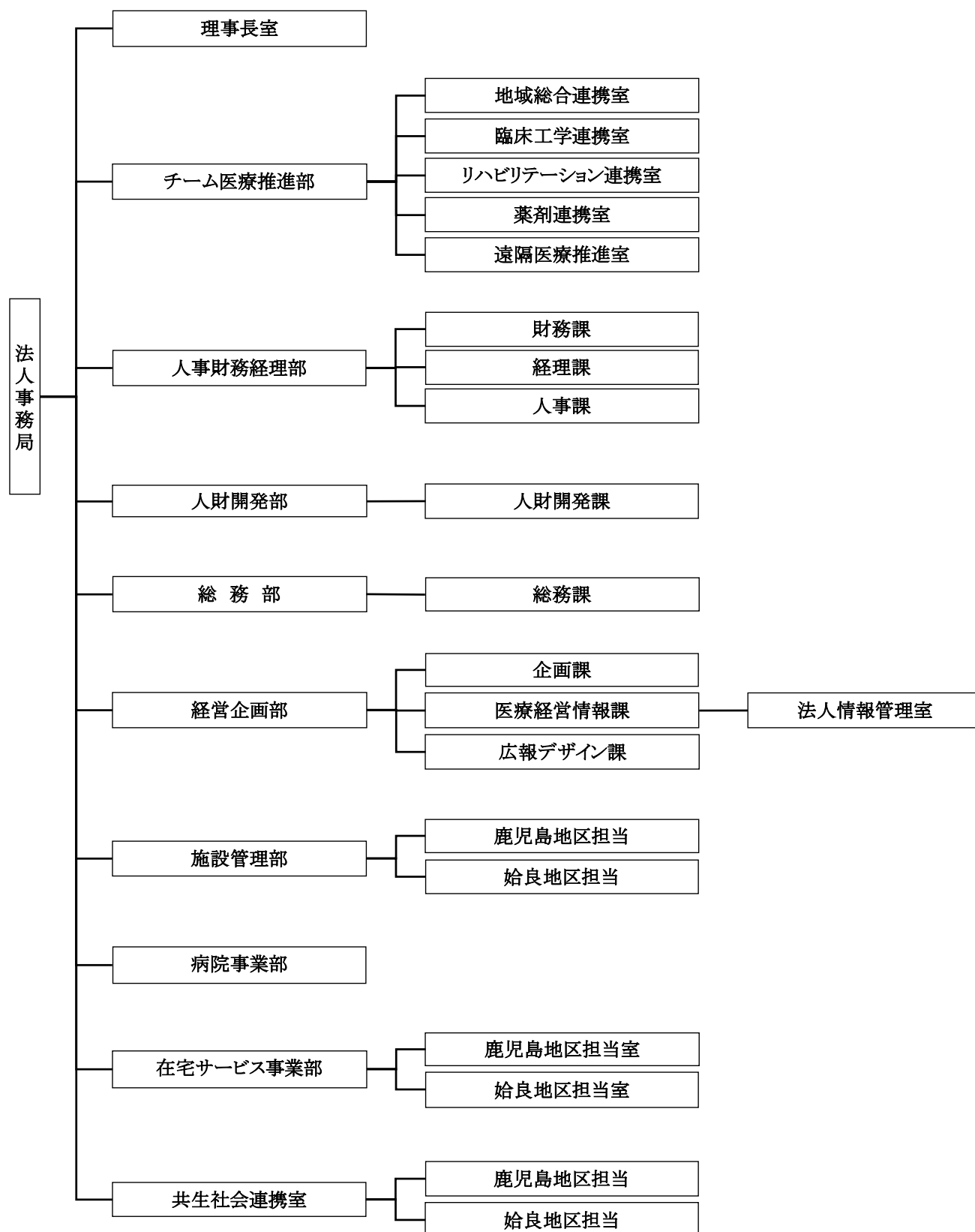
1. 上村章：九州医事新報取材「移転 1 年半、どのような病院運営を目指しているか」, 9 月 20 日発売 700 号, 2022
2. 萩原隆二：NHK 鹿児島放送局取材「コロナ禍における透析医療の逼迫や患者受け入れ等に関する現状について」, 8 月 8 日放送. 2022
3. 萩原隆二：南日本新聞取材「コロナ禍における透析患者への対応について」, 8 月 27 日掲載. 2022
4. 萩原隆二：NHK 鹿児島放送局取材「3 月 13 日からのマスク着用が個人判断となる事について」, 3 月 13 日放送. 2022

■法人事務局

1. 高田昌実：鹿児島県制作 2 月公開環境マネジメントシステム動画取材
2. 高田昌実：毎日新聞南九州版 寄稿「安心・安全な地域医療をめざす」8 月 23 日, 2022

法人事務局

医療法人 玉昌会 法人事務局 組織図 2023 年 3 月現在



職 員 数

2023 年 3 月 31 日現在

職 種		法人事務局	キリキテラス ヘルスケアホスピタル	加治木温泉 病院	介護医療 院おはな	在宅サービス 事業部	計
常勤職員	医 師	1	14	14	1	0	30
	歯科医師	0	0	1	0	0	1
	医療技術職	薬剤師	1	4	4	1	10
		診療放射線技師	1	4	3	1	9
		臨床検査技師	0	3	5	0	8
		理学療法士	0	37	35	1	75
		作業療法士	0	25	32	1	61
		言語聴覚士	0	10	20	1	31
		公認心理師	0	1	4	0	5
		義肢装具士	0	0	2	0	2
		鍼灸マッサージ師	0	0	0	0	0
		管理栄養士(含む栄養士)	0	4	5	2	11
		臨床工学技士	0	6	6	0	12
		医療ソーシャルワーカー	1	5	4	0	10
		歯科衛生士	0	0	5	0	5
		その他(補助者等)	0	1	3	0	4
		小 計	4	114	143	8	274
	看護部門	看護師	0	95	130	9	266
		准看護師	0	6	7	3	24
		介護支援専門員	0	0	1	1	14
		介護福祉士	0	35	39	6	123
		ケアワーカー	0	14	16	1	32
		小 計	0	150	193	20	459
	その他	保育士	0	0	4	0	4
		部次課長	6	4	3	0	13
		その他(事務員等)	21	25	34	1	84
		小 計	27	29	41	1	101
	合 計	31	293	377	29	104	834
非常勤職員	医師	0	1	0	0	0	1
	診療放射線技師	0	0	1	0	0	1
	臨床工学技士	0	1	0	0	0	1
	理学療法士	0	0	1	0	0	1
	作業療法士	0	2	2	0	1	5
	公認心理師	0	1	2	0	0	3
	鍼灸マッサージ師	0	0	0	0	1	1
	歯科衛生士	0	0	0	0	0	0
	看護師	0	7	13	2	6	28
	准看護師	0	5	5	3	7	20
	介護福祉士	0	6	8	1	12	27
	ケアワーカー	0	8	9	0	12	29
	保育士	0	0	2	0	0	2
	医療ソーシャルワーカー	0	0	0	1	1	2
	その他	3	14	10	4	1	32
	合 計	3	45	53	11	41	153
総 合 計		34	338	430	40	145	987

2022 年度学校訪問及び就職説明会

月 日	訪問先	対象者
4 月 19 日	医療法人協会立看護専門学校	看護師・奨学生
4 月 20 日	神村学園高等部・神村学園専修学校	看護師・奨学生
6 月 15 日	鳳凰高等学校	看護師・奨学生
6 月 16 日	龍桜高等学校・加治木看護専門学校	看護師・奨学生
8 月 5 日	鹿児島国際大学	MSW
9 月 30 日	神村学園専修学校	P T・O T
10 月 13 日	鹿児島国際大学	看護師・奨学生
10 月 21 日	第一医療リハビリ専門学校	P T・O T・S T

P T：理学療法士 O T：作業療法士 S T：言語聴覚士 MSW：社会福祉士

環境経営マネジメントへの取り組み

世界が達成可能な開発目標「SDGs」を掲げ、玉昌会としても環境経営に積極的に取り組んでいます。環境省が策定した日本独自の環境マネジメントシステム（EMS）、「エコアクション21」への取り組みは2022年度で11年を数え、中央事務局より永年取組事業者として感謝状を受けました。



11年間の取組の間には、環境省が主催する「環境コミュニケーション大賞」の「環境経営レポート部門・優良賞」を2020年度に受賞したほか、NPO法人九州環境カウンセラー協会主催の「環境経営レポート大賞・九州」では、最上位賞の大賞を含めて2016年度から7回の受賞を頂きました。昨年は「外部コミュニケーション賞」を受賞。

また、鹿児島市の「かごしまSDGs推進パートナー」に医療法人として初の登録事業者となり、市と連携して「SDGs」の普及・啓発に積極的に取り組んでいます。

○玉昌会の環境理念

「いつまでも健やかに・・・私たちの願いです。」の基本理念と行動指針を柱に地域社会に医療サービスと福祉サービスを提供させて頂いている私たちは、今後も地域の皆様と共に、より良い社会を築き上げていくために、企業活動においても地球環境を経営上の優先課題として取り組みます。

○環境経営方針

環境への負荷削減を始めとする環境保全活動に積極的かつ継続的に取り組み、環境経営を通してSDGsの達成に貢献するため、以下に環境経営方針を定めます。

1. 事業活動に関わる環境関連法・条例その他のコンプライアンスを徹底します。
2. 環境への負荷の削減や環境改善を図るために下記事項に取り組みます。
 - (1) 地球温暖化対策のため省エネルギーに取り組み二酸化炭素の削減に努めます。
 - (2) 資源の有効的活用を図り、リデュース・リユース・リサイクルの3Rを推進します。
 - (3) 廃棄物の削減及び適正管理に努めます。
 - (4) 水使用量の削減に努めます。
 - (5) 化学物質の使用量の削減、安全な管理を行います。
 - (6) 医療、福祉サービスを効率的に提供し資源を有効的に活用します。
 - (7) 地域清掃活動を継続します。
3. この環境経営方針を推進するために、教育・研修を継続し全職員に周知します。

○玉昌会が重点的に取り組む「SDGs」のゴール

- ・ 二酸化炭素の削減に努めます。



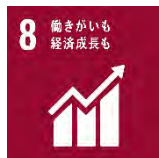
- ・ リサイクル 3Rの推進、廃棄物の削減、化学物質の使用量削減。



- ・ 水使用量の削減



- ・ 福祉サービスを効率的に提供し資源を有効活用します。



- ・ 地域ボランティア清掃。



- ・ 教育と研修



○地域貢献活動

